

## 地域リハビリテーションとは

障害のある子どもや成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行なう活動のすべてを言います。 (2016 改定 一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会)



### 北九州市地域リハビリテーション支援センター

センター名	東部地域リハビリテーション支援センター	西部地域リハビリテーション支援センター
受託機関	医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院	社会医療法人共愛会 戸畑リハビリテーション病院
所在地	〒803-0861 北九州市小倉北区篠崎1丁目5番1号	〒804-0092 北九州市戸畑区小芝2丁目4番31号
電話番号	(代表)093-581-0668	(代表)093-861-1500
F A X	093-581-3383	093-861-1503
E-mail	kcbr-tobushien-kr@kyouwakai.com	reha-shien.tobata@kyoaikai.com
担当エリア	門司区・小倉北区・小倉南区	若松区・八幡東区・八幡西区・戸畑区
従事者	リハビリテーション専門職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)	

ご相談は、下記の「相談専用ダイヤル」をご利用ください!!

○東部地区(門司・小倉北・小倉南)の方

東部支援センター **080-9068-9417**

○西部地区(若松・八幡東・八幡西・戸畑)の方

西部支援センター **080-6408-7271**

＼相談してね／



【本紙に関するお問い合わせ先】

北九州市保健福祉局 地域リハビリテーション推進課

〒802-8560 北九州市小倉北区馬借1丁目7番1号 TEL. 093-522-8724 FAX. 093-522-8772

北九州市印刷物登録番号第 2111085B 号

## 北九州市地域リハビリテーション 支援センターのご案内



北九州市では、これまで地域リハビリテーションを推進していくため、事例を通じて支援のあり方を学ぶ研修会(地域リハビリテーションケース会議・平成15年度から開始)の開催や、職種間のつながりを強くするリハビリテーション連絡協議会の運営など、様々な取組みを進めてきました。

この度、さらなる推進を図っていくため、2021年(令和3年)4月に「北九州市地域リハビリテーション支援センター」を設置しました。このセンターを拠点に地域リハビリテーション支援体制の強化を図り、リハビリテーションの立場から市民一人ひとりの生活をサポートしていきます。

北九州市

## 支援センターの役割



### 相談支援

- 専門相談窓口を設置し、ケアマネジャーや介護サービス事業所などの従事者からのリハビリテーションに関する相談に応じます。
- 利用者の心身機能の評価や環境調整など、自立支援に向けた具体的な助言や提案などを行います。
- 相談内容に応じて、相談者の方と一緒に在宅訪問を行います。

### リハ職の派遣

- 地域包括支援センターが開催している地域ケア個別会議や、地域で行う研修会の講師等にリハビリテーション専門職を派遣します。
- リハビリテーション職能団体などと協働し、その人らしい暮らしの実現や生活の質の向上に向けた支援ができる専門職を増やしていきます。
- 地域のニーズに応じて、リハビリテーション専門職の派遣調整を行います。

### 介護予防の推進

- 地域で行われているサロンなどの通いの場にはリハビリテーション専門職を派遣し、生活の困りごとをふまえた運動方法を助言・提案することで、地域活動がより効果的なものとなるよう支援します。

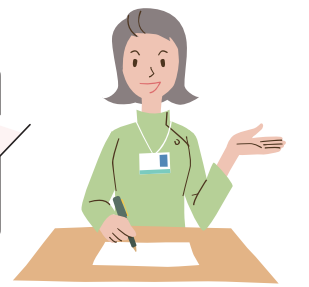
### ネットワークづくり

- 医療・介護などの関係者が横の連携を図り、リハビリテーションの立場から地域の中で協働できるよう、多職種が気軽に参加できるネットワークづくりを全市的に広げます。



## 相談支援の例

相談窓口では  
様々な相談が寄せられており、  
一例をご紹介します。



### 例1 【一人でできる事が増え、以前行っていた地域活動を再開できた】

相談内容	運動の場を検討するため、身体機能評価とサービス選択について、リハ専門職の見立て・意見を聞きたい
支援した内容	・身体機能の確認(腰の痛みや動作方法等を確認)及び向上の見込みを助言 ・手すり設置による入浴動作を指導、道具の工夫による家事動作の助言
相談後の変化	・入浴動作が自立できた ・デイサービスの運動を自宅で行う等、意欲的に体を動かすようになった ・市民センターの教室に参加し趣味のカラオケを再開、近所のサロンで体操に参加できた

### 例2 【日常生活の行動に自信がつき一人で外出する機会が増えた】

相談内容	腰椎骨折の既往があり、転倒の不安が強い方の入浴、外出の動作を教えてください
支援した内容	・浴室に手すり設置、浴槽台導入、安全な入浴動作を指導 ・シルバーカーを使用し、屋外歩行を行い、外出時の注意点を確認
相談後の変化	・利用者が安全な動作方法を習得し、転倒に対する恐怖心が減ったことで交通機関を利用して外出する機会が増えた ・ヘルパー利用を終了し、短時間通所を開始した



## 地域リハビリテーション支援体制について

支援センターと地域リハビリテーション協力機関が協働し、地域の様々な活動(地域ケア個別会議や地域住民主体の活動の場、各種講演会など)に、リハビリテーション専門職が関わっていく仕組みを作り、地域リハビリテーションの推進を図ります。

